



ひな 雛まつり 「桃の節句」

3月3日の雛まつりである「桃の節供」では、お内裏さまとお雛さま、その他さまざまな人形や道具を飾って、女の子の成長と幸せを祈ります。



ひな 雛まつりとは

ひな 雛まつりとは、おおむかし ちゅうごく で、3月の上旬に水辺に出て、自分の身に降りかかる災いやけがれを流し去る行事がもとと考えられています。この行事は、今から1300年以上も昔に日本に伝えられました。

また日本には、自分に取付いた悪いものを祓うために、紙や木を人のかたちに切り抜いた人形に、息を吹きかけたり、体にすりつけて、水辺に流す風習が古代からありました。



これとは別に、子どもたちの遊びに用いられた人形を「ひいな」と呼んでいます。これらの風習がいつの頃からか

は明らかではありませんが、3月3日の雛まつりとなったと考えられています。

江戸時代になると、次第に雛まつりが盛んになりました。江戸時代の初め頃は、紙でできた立雛を何対もならべ、雛の道具は、ごちそうをお供えるための器ぐらいでした。雛まつりが普及するにつれ、いろいろな雛人形が生み出され、雛人形とともに飾られる添え人形や道具類がしつらえられるようになりました。雛段の数

も江戸時代中頃には、2～3段の段飾りがあらわれ、江戸時代の終わり頃には7～8段の豪華な飾りも見られるようになったといわれています。



てんじしつ 展示室でじっくり見てみよう！

鑑賞ポイント ①

有職雛の服装を見てみよう！

「有職雛」は、公家(貴族)の着る衣服を正しく再現して作られた雛人形のことをいいます。
 女雛の服装は…男雛の服装と同じようにその場に応じてかわります。

公式の儀式の時に着る礼服

束帯姿

上級の公家の少しおしゃれした普段着

直衣姿



じゅうにひとえ 十二単



うちき 桂

菊折枝時絵雛道具

鑑賞ポイント ②

家紋を見つけてみよう！

菊の折枝をちりばめ、徳川家の家紋である「葵紋」と近衛家の家紋の「抱牡丹紋」とを散らしたデザイン。



葵紋



抱牡丹紋



菊折枝時絵雛道具 源氏筆筒

鑑賞ポイント ③

通常の道具とお雛さまの道具の大きさをくらべよう！

福君の貝桶・合貝



お雛さま用の貝桶・合貝



徳川美術館 THE TOKUGAWA ART MUSEUM

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017 TEL052-935-6262
<https://www.tokugawa-art-museum.jp/>